

令和２年度以降の敬老会の実施方法の見直し案に関する意見公募 実施結果

1 意見提出期間

令和元年 11 月 13 日（水）～ 令和元年 12 月 23 日（月）

2 意見提出者 15 名

提出方式の内訳

- ・持参 13 名
- ・ファクシミリ 1 名
- ・電子メール 1 名

3 意見総数 25 件

意見の内訳

- ・ 町の実施方針等に関する意見 4 件
- ・ 従来の敬老会の継続又は従来の敬老会の開催方式を見直して継続を希望する意見 17 件
- ・ 従来の敬老会とは異なる方式での開催に関する意見 3 件
- ・ 令和２年度町が主催する敬老会に対する意見 1 件

4 閲覧場所

町ホームページ、地区公民館、ゆいっとサロン、紫波町図書館、長寿介護課
高齢者支援室、企画課

令和2年度以降の敬老会の実施方法の見直し案に関する意見公募
意見の概要と町の考え方

※類似する意見はとりまとめて掲載しています。

○ 町の実施方針等に関する意見

	意見の概要	件数	町の考え方
1	75歳を選んだ理由が不明です。後期高齢者になる意識付けなら意味がないと思います。75歳では自分を老人とは思わない人が多く、参加する人数が少ないのではないのでしょうか。制度の年齢とは別に、紫波町なら80歳か83歳以上から対象にすることはいかがでしょうか。	1	ご意見のとおり、近年の敬老会の出席率は3割程度であり、敬老会に対する高齢者のニーズは変化してきていると考えております。当町としては、地域の自主性も尊重し、敬老会のあり方について検討してまいります。 75歳を対象とした理由については、対象者を75歳にすることで、従前の敬老会から引き続く形で、敬老者を公平にご招待したいということが理由となります。
2	75歳の方を一堂に集めることはやめた方がよいと思います。これまでの地区の状況を見ても多くの参加を見込めないからです。その予算を充てて各地区に委託した方がよいと思います。	1	
3	地区の福祉協議会長さん達から敬老会の開催について受託できないとする理由について書面を受け取ってありますか、又は共通事項としてすべての協議会は何をもって同調されたのですか。	1	地区社協からは、敬老会の開催方法について見直しが必要ではないかという意見は以前からいただいていた。それを踏まえて、平成30年度の敬老会が終了した同年11月から3回にわたり、委託先の地区社協と今後の敬老会の在り方について意見交換行ったところ、各地区社協では高齢者の増加による実施会場の不足、高齢化に伴う運営ボランティアの減少、送迎の問題等により、従来の形式での受託はできない旨の意見をいただいたものです。
4	町と地区の社会福祉協議会とは文書による契約書とか金銭領収書等を必要とされておらないのですか。地区の方々とは口頭のみでの取り決めであったとゆうことですか？	1	敬老会の委託については、年度ごとに各地区社協と事業委託の契約書を取り交わして実施しております。事業報告等についても、書面でいただいています。

4

○ 従来の敬老会の継続又は従来の敬老会の開催方式を見直して継続を希望する意見

	意見の概要	件数	町の考え方
5	1年に一度民生委員が敬老会の案内を持って伺えることが見守りに繋がっていました。 参加者は3分の1程度でしたが、町からの情報提供で本人に確認できていました。それがなくなってしまうと民生委員の負担が多くなり手がないことに拍車をかけてしまいます。 小さな地区単位の開催も可能とは思いますが情報提供をぜひお願いしたいと思います。	1	町から各地区社協へ事業委託をする際には、敬老会への案内漏れが生じないように、個人情報保護条例に基づき、敬老事業にのみ利用することを条件に敬老対象者の情報提供を行いました。 町から民生委員に対しては、日頃から地域福祉活動をするために必要な基本情報を提供しておりますので、活動に必要な情報が必要な場合は随時お問合せをお願いいたします。

	意見の概要	件数	町の考え方
6	役場で決定したプロセスに大きな問題があったと思います。 会を楽しみにしている人たちの意見も聞かず、役場の都合で変更するのはいかなものか。 運営が大変ならば、どのようにしたら改善できるのか考えたのでしょうか。	1	敬老会の開催にあたり、各地区の人口規模や高齢化の状況に大きな差が生じており、従来どおり全地区に同条件で事業を委託することに支障がでている状況から、数年前から地区社協の関係者の皆様と事業の見直しに向け協議を重ねてきた経緯があります。 運営に関しては、敬老者参加型のアトラクションにする、椅子席の設営、同地区の企業から賛助会費を募る、一部負担金を徴収する等、地域の実情に応じて地域の独自性を生かした様々な工夫がされてきたところです。また、地区社協の皆様、関係団体の皆様にはボランティアとして永年運営にご協力いただき大変感謝しております。
7	集落規模が小さくなって盛り上がらない。またはお手伝いする人がいない。 ならば、小学校を統合したように西部・東部地区を統合して敬老会を開催することもできるでしょう。 お手伝いする人がいない。 公民館にはいろんな役についている人が大勢います。その人たちにどれだけお願いしているのでしょうか。 敬老会の主旨をしっかりと話したら応援する人はきっといるはずです。	1	今回、敬老者の意向調査を敬老会の機会をとらえて実施したところですが、その結果やパブリックコメント資料を基に、地域で開催が可能な新しい形での敬老会の在り方を検討し始めている地域もあります。 今後もより良い事業の在り方を地域の皆様と一緒に検討してまいりたいと思いますので、ご意見をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。
8	町主催で75歳を一堂に会して祝うことは、それはそれでいいことだと思います。しかし、それ以外の76歳以上の方々に対しては何もしないというのは余りにも短絡的で、76歳以上の方々にも今まで苦勞して実施してきた地区社協にたいしても配慮がないのではないのでしょうか。何か対応を考える必要があると思います。	1	
9	会費制にして従来のとおり敬老会を実施して欲しい。	5	
10	規模を縮小して従来のとおり敬老会を実施して欲しい。	4	
11	従来通り敬老会を実施して欲しい。	4	

○ 新たな方式での開催提案

	意見の概要	件数	町の考え方
12	各地区でもそれぞれの事情があるのでしょ うから、知恵を出し合って、それぞれの地 区の背丈にあったやり方で敬老会を行うこ ととした方が良くと思います。	1	地区によっては、それぞれの創意工夫で新た な敬老の会を実施する動きもあります。また、地 区単位ではなく、いきの家などの既存の事業 を活用することを検討している地区もあります。 町としては、地域の自主性も尊重し、ご意見を 参考に敬老会のあり方について検討してまいり ます。
13	75歳のみで開催になると寂しくなるので、 自治公民館単位でもお祝いをして欲しい。	1	
14	「行政区・自治公民館」を単位とした地域 敬老会(仮称)で76歳以上の方々を敬老 することとし、その会の運営経費を対象とし た補助金を交付する事業の創設を提案し ます。(実際に事業化している市町村の事 例もあります。) ※蓮田市の敬老会事業の補助金申請の 手引き添付	1	

3

○ 令和2年度町が主催する敬老会に対する提案

	意見の概要	件数	町の考え方
15	町主催では、職員の負担が大ききような気 がするので、事務的なことは町があたり、ボ ランティアを募集することはいかがでしょう か。	1	貴重なご意見ありがとうございます。ご意見を 参考に事業を検討いたします。

1